

令和6（2024）年度 事業報告書

2024年4月1日～2025年3月31日

特定非営利活動法人 小児救急医療サポートネットワーク

I. 総括

令和6（2024）年度事業計画は、以下の3点を目標とした。各目標についてある程度達成できたが、課題も明らかになった。

1. 電話相談事業拡張を視野に入れて、相談の充実を図る
2. 電話相談の知見を活用し、保護者支援の検討・受け入れ機関との連携を模索する。
3. NPO 法人としての活動を強化する

1. 当団体の運営により、大阪府小児救急電話相談（#8000）事業を行った。相談件数は66,367件と7万件は超えなかったが、過去3番目に多い件数であった。
2. #8000の回線数を5月以後準夜帯5回線に拡充し、全体として応答率は改善した。
3. （一社）大阪小児科医会にオブザーバーを依頼し、運営会議および医会会報で意見交換を行った。
4. 電話相談員の研修は、オンラインを併用した講師による研修3回と自主研修2回、学会報告1回を行った。新人研修は、録画視聴と実践研修、実際の相談の振り返り等の方法を検討した。
5. 新生児や乳児期早期の相談対応について、冊子を出版した。冊子を活用した相談員研修を行った。
6. 外国人からの電話対応については、おおさかメディカルネットの検索を案内することとした。
7. 保護者への啓発については、助成金を申請し、冊子とグッズを作成した
8. 新生児受け入れ可能な小児科医リストを更新し、産婦人科医会に資料を提供した。
9. #8000 全国情報センターに9月～11月分の相談に関するデータと、話中電話に関する令和6年度の結果および5年度との比較について調査結果を報告した。
10. 第33回日本外来小児科学会では、WSと一般演題に参加した。
11. 令和6年度大阪府医師会医学会総会で、話中電話に関する調査結果を発表した。
12. 大阪府救急医療情報センター・救急安心センターと情報交換会を行った。
13. 厚生労働省の#8000 相談員研修会全国2回に講師として、大阪では相談員2名が参加した。
14. 出務環境検討委員会の委員の募集を行い、相談員4名事務局3名の体制が整った。
15. 会報「さぼネット通信」第2号を作成し、正会員・賛助会員に案内した。

2024年度の課題として、以下が挙げられた。

1. 5回線に拡充したが、電話機による対応数の差や一時的に集中する日や時間帯での対応は不十分で応答率の改善度は想定より低かった。
2. 新生児を受け入れる小児医療機関リストを作成したが、掲載件数や周知活用は不十分であった。
3. 保護者への啓発は、当団体における講座開催に至らなかった。HPの活用や配信なども今後の課題と考えられた。
4. 初期救急医療機関との連携・薬に関する相談・小児内科以外の診療科の受け入れなど懸案事項は#7119や救急医療情報センターも共通の課題であったが、解決策の構想は立てられなかった。
5. 他機関との連携は、面識ができたが、具体的な課題解決への連携は今後の課題となった。

II. 各事業報告の詳細

(1) 小児救急等に関する相談事業

①大阪府小児救急電話相談（#8000）事業

大阪府小児救急電話相談の運営を円滑に遂行することができた。準夜帯 19 時開始、20 時から 5 回線深夜帯 2 回線を維持した。年間相談件数は 66,367 件と過去 3 番目の件数であった。出務の急な変更に対応するため、LINE グループを作り登録を募った。

②相談受付票の電子化事業

新人には無理のない範囲で、継続の相談員で入力できていない場合も、すべての項目の入力ができるよう奨励した。事務局での入力修正作業は、必須項目に重点を置く形に簡素化した。

③データ集計事業

月々のデータ集計結果は毎月の運営委員会で NTT データ関西と大阪府に報告した。（一社）大阪小児科医会にオブザーバーを依頼し、年 2 回の運営委員会での意見交換に加えて、2023 年度の相談事業のまとめについて医会会報に報告した。9 月～11 月の 3 か月間のデータを、日本小児科医会 #8000 情報収集センターに報告した。

(2) 普及啓発事業

①小児救急電話相談に関する普及啓発事業

HP の保護者や一般を対象にした「お役立ち情報」の日中新生児の受け入れ可能な小児科医リストを更新した。会報さぼネット通信は第 2 回号を作成し配信した。

②小児救急に関する講座・講師紹介事業

保護者の家庭看護力向上や保育士、#8000 相談員を対象にした講座を行った（表 1）。

③大阪コミュニティ財団に助成金を申請し、保護者指導に関する冊子を作成した。

(3) 人材養成事業（表 1 参照）

①電話相談員研修事業

大阪府 #8000 相談員を対象とした電話相談の研修のうち 2 回は、外部講師を招いて「呼吸器疾患」と「外因系の対処方法」の講座を開催した。2 月には地域のコミュニティスペースで研修会後の懇話会も開催した。

②電話対応研修事業

9 月 7 日、高山市の市民会館で開催された第 33 回日本外来小児科学会にて、午前中一般演題の報告、午後には WS を行った。

(4) 調査・研究事業

①電話相談内容の分析事業

9 月 7 日の第 33 回日本外来小児科学会で、「頭部打撲を主訴とする電話相談の分析～2022 年度 大阪府 #8000 の報告～」について発表した。

2023 年度小児救急電話相談実績報告書において、年度のまとめを作成し、大阪府に報告した。

(一社) 大阪小児科医会の会報 210 号に 2023 年度の報告を掲載した。

②新生児受け入れ体制整備事業

日中新生児の受け入れ可能な小児科医リストを更新した。(一社) 大阪小児科医会の協力を得て、再度参加を呼びかけた。

③話中電話検討事業

#8000 で受電できない話中電話の件数調査を継続し、昨年度との比較を含めて、結果を日本小児科医会#8000 情報収集センター事業で報告した。

11月4日令和6年度大阪府医師会医学会総会で、「大阪府小児救急電話相談(#8000)の話し中電話も含めたニーズ調査」について、発表した。

表1.研修会・講座の報告一覧

	開催日	場所	研修内容	講師・担当	参加人数
相 談 員 研 修 会	5月18日	た か つ ガ ー デ ン ・ ZOOM	小児呼吸器疾患の対応について	大阪赤十字病院附属大手前整肢学園 住本真一	34名
	7月・9月	上本町事務所	自分の声を聴きましょう	廣岡由紀子・福井聖子	12名
	11月16日	た か つ ガ ー デ ン ・ ZOOM	小児の救急～外因	岸和田徳洲会病院 救命救急センター 鍛冶有登	38名
	3月1日	ちっち&くっく・ZOOM	令和6年度のまとめ・新生児マニュアル・クレーム対応	福井聖子	19名
	9月7日・8日	高山市民会館	第33回日本外来小児科学会 ワークショップ・一般演題	松本雪子・松尾千加子・チェスター綾子・廣岡由紀子・福井聖子	WS：20名
外 部 電 話 相 談 研 修 会	6月29日	ZOOM	令和5年度日本小児保健協会 電話相談ベーシックコース 小児救急電話相談スキルアップ研修会		38名
	10月13日	東京都	令和5年度日本小児保健協会 電話相談アドバンスコース 小児救急電話相談スキルアップ研修会		9名
	2月1日・2月15日	東京都・大阪市	厚生労働省#8000対応者研修全国#8000相談員研修		計32名
一 般 対 象 講 座	5月27日・10月28日・1月27日	西宮市	西宮市ファミリーサポートセンター 保育サポーター研修		計54名
	9月17日・3月4日	箕面市	箕面市ファミリーサポートセンター 保育サポーター研修		計22名
	11月19日	堺市	堺市西区子育て支援センター 保護者対象啓発講座		15名
	12月11日	高槻市	びーかぶー		9名
	10月31日	箕面市	箕面市子育て支援センターひじり 保護者対象啓発講座		10名
	10月25日	東京都	日本小児科医会#8000小児科医インスタライブ 一般対象公開講座		当日視聴 567名

Ⅲ. 社員総会の開催状況

第10回通常総会 2024年5月18日（土曜日）15:30～16:00

場所：大阪府教育会館 たかつガーデン

社員総数：52名 出席者数：34名（うち委任状出席者14名）

- 内容：1. 2023年度事業報告・会計報告について
2. 2024年度事業計画・事業予算について
3. 2024年度理事改選について
4. 役員報酬の承認に関して
5. その他

以上について、承認を得た。

Ⅳ. 事務局 理事会と定例会の開催状況

理事会

2024年8月17日（土曜日） 16:00～17:30

場所：上本町事務所 出席：理事5名・監事1名

1. 2023年度事業報告・会計報告について
2. 2024年度事業計画・事業予算について
3. 年間研修計画・実施状況報告
4. 重大事例報告 心筋炎について
5. 新生児リスト作成について
6. 保護者啓発 助成金事業について
7. さぽネット通信と賛助会員募集について
8. 役員報酬について
9. その他

定例会

毎月1回 理事長と事務局職員で進捗状況を確認した。

Ⅴ. その他

「信頼感と居場所づくりを育む子どもの病気やケガへの啓発事業」について、公益財団法人大阪コミュニティ財団の2024年度助成事業に応募し、相根喜光・ふき子基金から20万円の助成を得た。